



眼下にはおいしいシジミ貝で有名な十三湖と日本海の間広がるクロマツ林の防風保安林です。遠くには岩木山を見ることができます。

海岸林から十三湖と岩木山（青森県北津軽郡中泊町）
[提供：津軽森林管理署金木支署]

CONTENTS

地域発NEWS	1～4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5～6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

ヤマメのための森林づくり

秋田

秋田森林管理署湯沢支署

皆さんはヤマメという魚をご存じですか？パーマークと呼ばれる模様がとても美しく、「溪流の女王」とも呼ばれている溪流魚です。

さて、当支署管内には、地元の役内・雄物川漁協と「社会貢献の森※」の協定を締結した「山女（やまめ）の森」があります。山女の森では、ブナを中心とした広葉樹が植えられ、毎年、補植や下刈などを行うイベントが行われています。今年度は6月3日に各種団体から総勢約30名が参加し、4年ぶりの通常開催となりました。

事前に主催者から、「マンネリ化を感じる」「森の成長に合わせ作業を見直したい」と相談を受けたことから、当支署では、弱った木や枝の除去を提案したほか、「ヤマメと森林の関係」をテーマにした紙芝居を上演することにしました。若手職員が苦心して作り上げた紙芝居は、釣りの話を取り入れたことで、とても好評でした。また、見直した作業により、山女の森に光が差し込み、「きれいになった」「今後の成長が期待できる」と、こちらも好評でした。



イベント大成功！

当支署では、今後も山女の森の成長に合わせて、イベントも成長していくように活動を支援していきたいと考えています。

※企業やNPO等が行う地球温暖化対策等への貢献として社会的責任（CSR）活動などを目的とした森林整備・保全活動へのフィールドを提供している。

治山事業の効果について

岩手

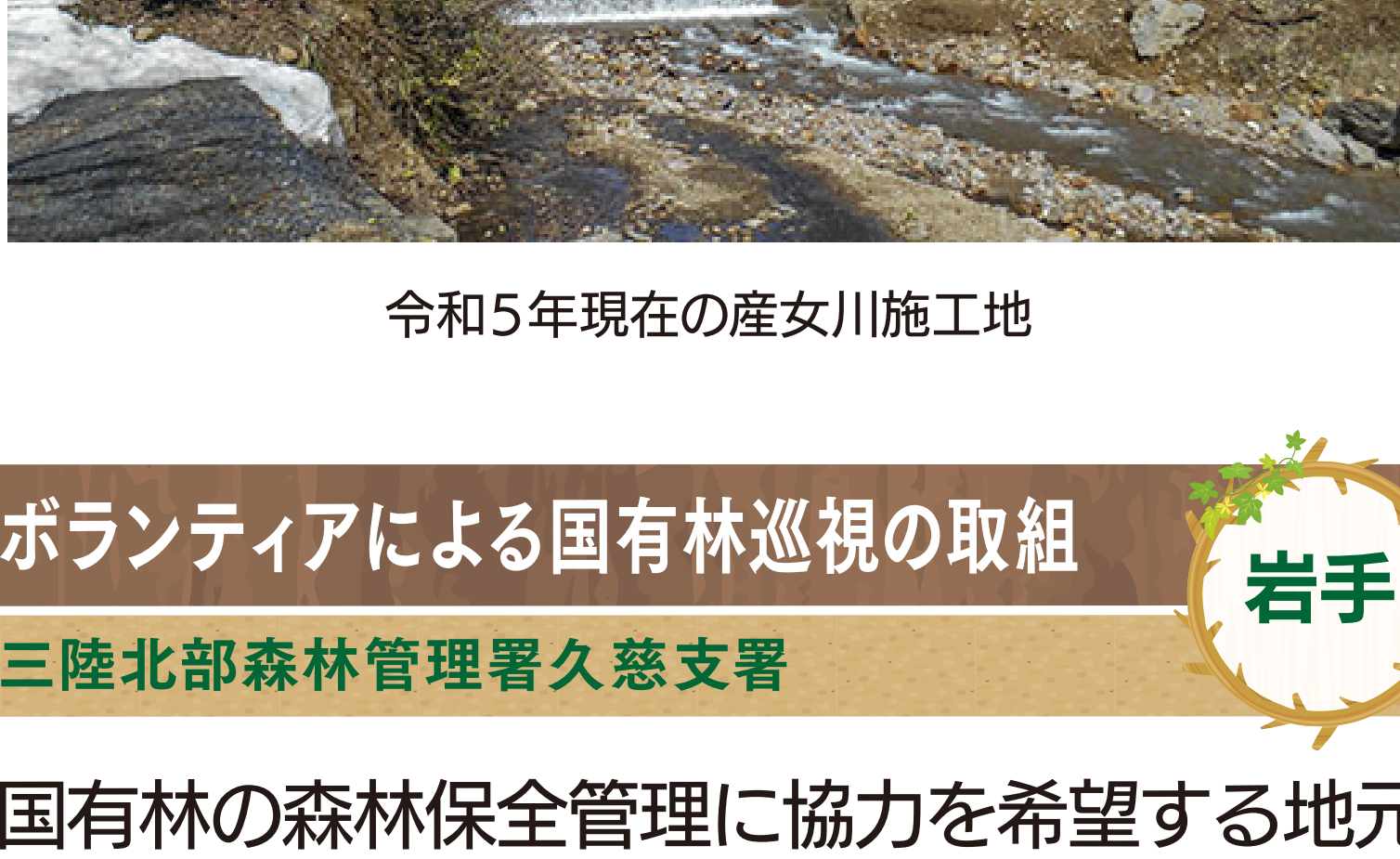
岩手南部森林管理署

山地災害の記録として後世に引き継がなければならないものの一つに、平成20年6月14日に当署管内を震源地として発生した岩手・宮城内陸地震があり、東北森林管理局管内では、大規模な地すべりや山腹崩壊箇所が2,322箇所発生しました。

一方、当署管内においては、昭和44年度から民有林直轄治山事業として磐井川地区において、直轄地すべり防止事業を実施しており、地すべりが起こる原因とされている地下水を排除するための「集水井工（集水する井戸）」や「排水トンネル工」等を数多く施工してきました。岩手・宮城内陸地震の際には、周辺地域で大きな地すべり等が発生した一方、工事を施工した区域においては被害がほとんど発生せず、地すべり防止対策の効果が発揮されたものと考えられています。

民有林直轄治山事業は平成30年度で終了しましたが、その上流流域である国有林内の産女川では工事が続いています。地すべり等による下流域への被害を防止するため、地震から15年たった現在も、地震により荒廃した溪流を落ち着かせるための「谷止工」や「床固工」を実施しています。

今後も効果的な治山事業の実施により地域の安全と安心を守っていきます。



令和5年現在の産女川施工地

ボランティアによる国有林巡視の取組

岩手

三陸北部森林管理署久慈支署

国有林の森林保全管理に協力を希望する地元住民により平成12年に「森林巡視協力員の会」が組織され、当支署では毎年「森林巡視協力員」として委嘱することで、ボランティア活動を後押ししています。

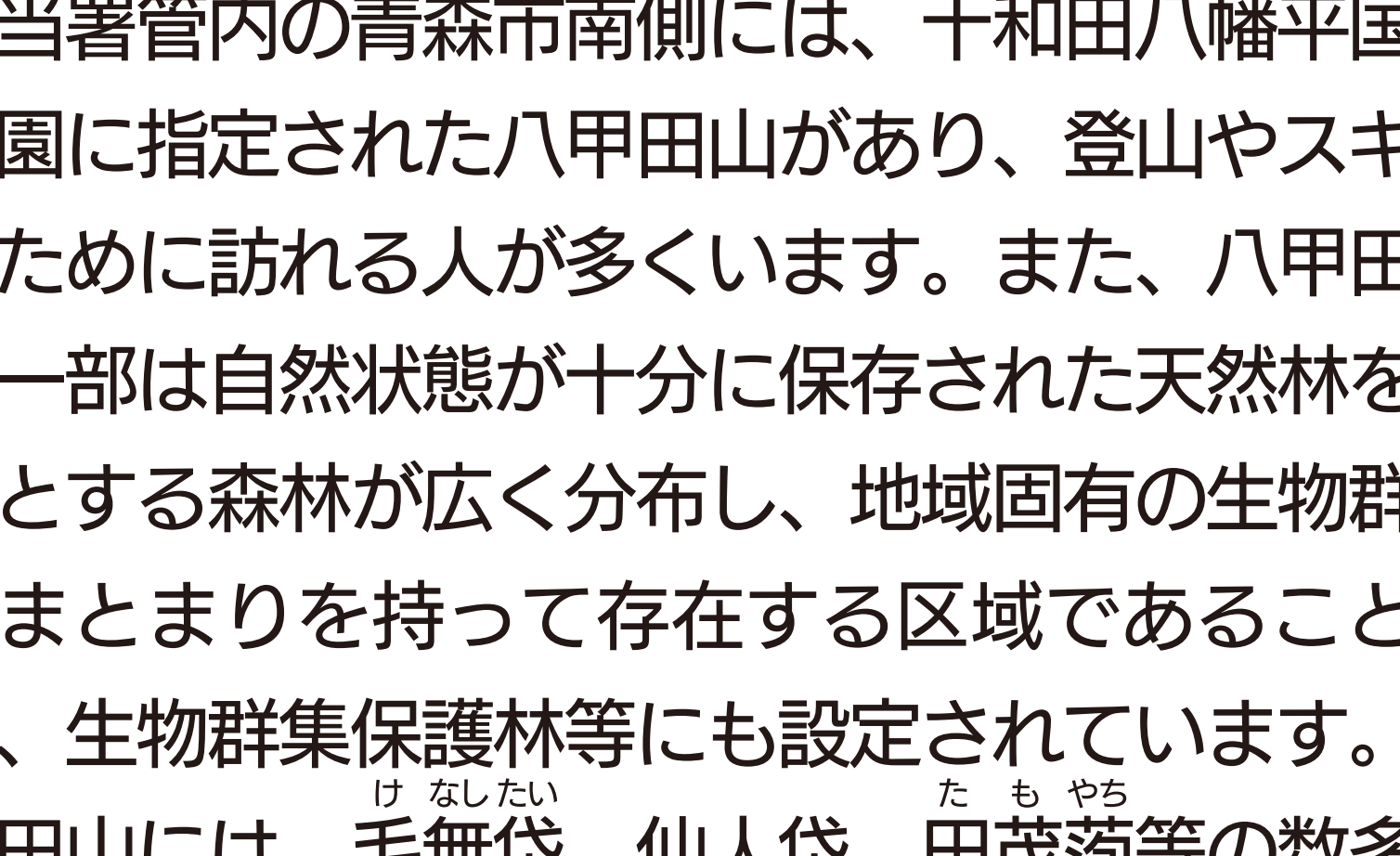
主な活動内容は、入林者への山火事防止や高山植物等保護の指導、啓発活動、不法投棄防止パトロールや山地災害の早期発見など幅広く活動を行っています。

会が組織された経緯は、森林レクリエーション利用等により国有林、民有林問わず入林者が増えたことで、ゴミのポイ捨てや不法投棄、高山植物の盗採等が深刻となったことから、地元住民が対応に苦慮し、当時の久慈営林署に相談したことがきっかけとなっています。

今年度は、地元住民を中心とした25名に協力員を委嘱し、管内で入林者の多い平庭岳や安家森、遠別岳、遠島山等で巡視活動を行っています。

会の発足時を知る協力員からは、「今では、不法投棄も無くなり、ゴミもほとんど落ちていない。」と活動の成果を称える声も聞かれます。

今後も協力員と連携して国有林を適切に管理していきます。



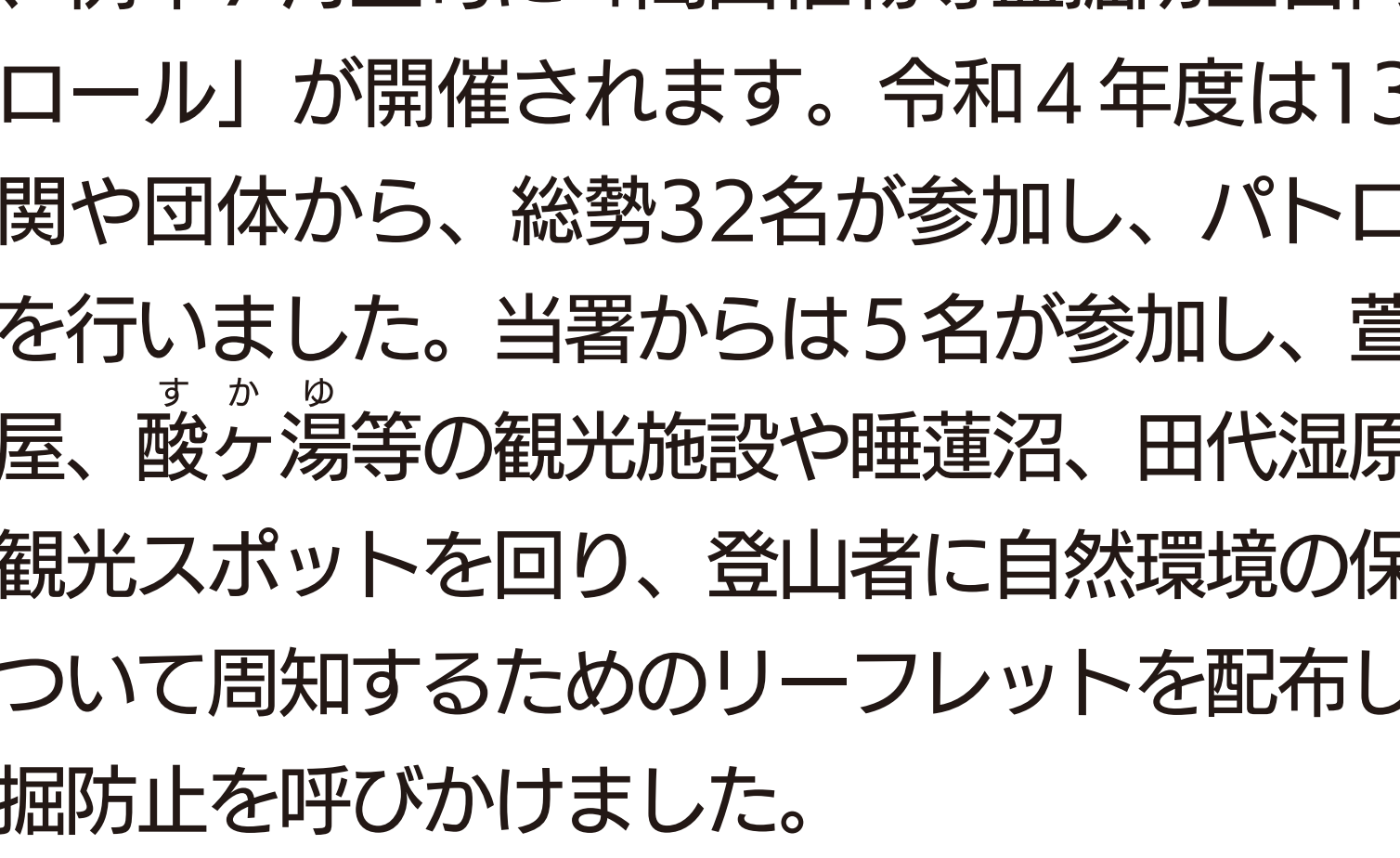
「森林巡視協力員の会」幹事会の様子

八甲田山の自然を守り楽しむために

青森

青森森林管理署

当署管内の青森市南側には、十和田八幡平国立公園に指定された八甲田山があり、登山やスキーのために訪れる人が多くいます。また、八甲田山の一部は自然状態が十分に保存された天然林を主体とする森林が広く分布し、地域固有の生物群集がまとまりを持って存在する区域であることから、生物群集保護林等にも設定されています。八甲田山には、毛無岱、仙人岱、田茂萓等の数多くの高原湿地があり、厳しい環境の中で貴重な草花、樹木が見られます。



毛無岱からの景色

その貴重な湿原や高山植物の保護を目的として、例年7月上旬に「高山植物等盗掘防止合同パトロール」が開催されます。令和4年度は13の機関や団体から、総勢32名が参加し、パトロールを行いました。当署からは5名が参加し、萱野茶屋、酸ヶ湯等の観光施設や睡蓮沼、田代湿原等の観光スポットを回り、登山者に自然環境の保護について周知するためのリーフレットを配布して盗掘防止を呼びかけました。

また、当署では、小中学生対象の森林教室を八甲田山系ほか管内各地で行って自然の大切さを伝える取組をしており、今後も日々の業務を通じて自然保護に努めていきます。

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

ブランド材「前森スギ」の供給開始

山形森林管理署最上支署

山形

前森山の裾野に、前森団地（真室川町字及位）と呼ばれる区域面積1,000haにも及ぶ広大な森林があり、団地内では、昭和の初め頃にスギが約500ha植林されました。これまで100年を超える大木を始めとする多様なスギの木材を安定的に供給できる団地の育成を目的に森林の手入れがされてきました。現在、前森団地のスギは高樹齢で大木が多く生育しており、毎年計画的に間伐を行うことで、高樹齢のスギを安定供給することが可能となりました。

そのため、東北森林管理局が新たに制定した高品質材ブランド規格を満たした6m以上のスギ長尺材を、令和4年度から「高齢級国有林高品質材前森スギ」として供給を開始しました。出荷にあたっては、伐採・寸法取りの指示、ブランド規格を厳正にチェックし、市場に供給しています。ブランド材の売れ行きは良く、購入者からは「今後も高品質材の出材を続けて欲しい」との声もありました。

今後はブランド材の知名度が増し、林業や地域の活性化につながるようPRすると共に、木材の安定供給に取り組んでいきます。



「前森スギ」6m材の入札の様子

外来種「ツヤハダゴマダラカミキリ」

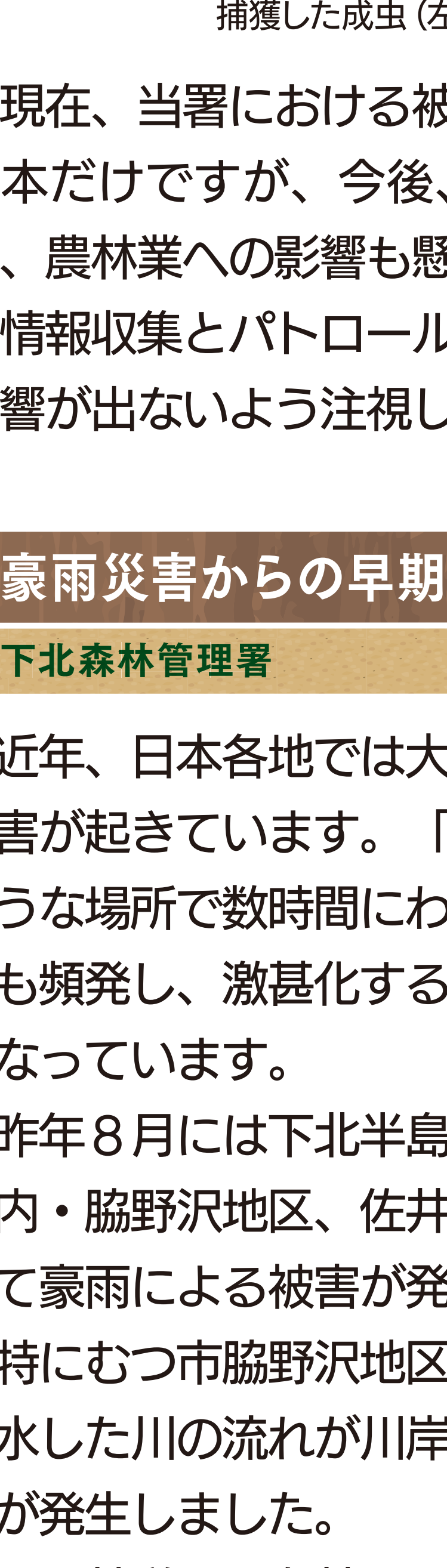
仙台森林管理署

宮城

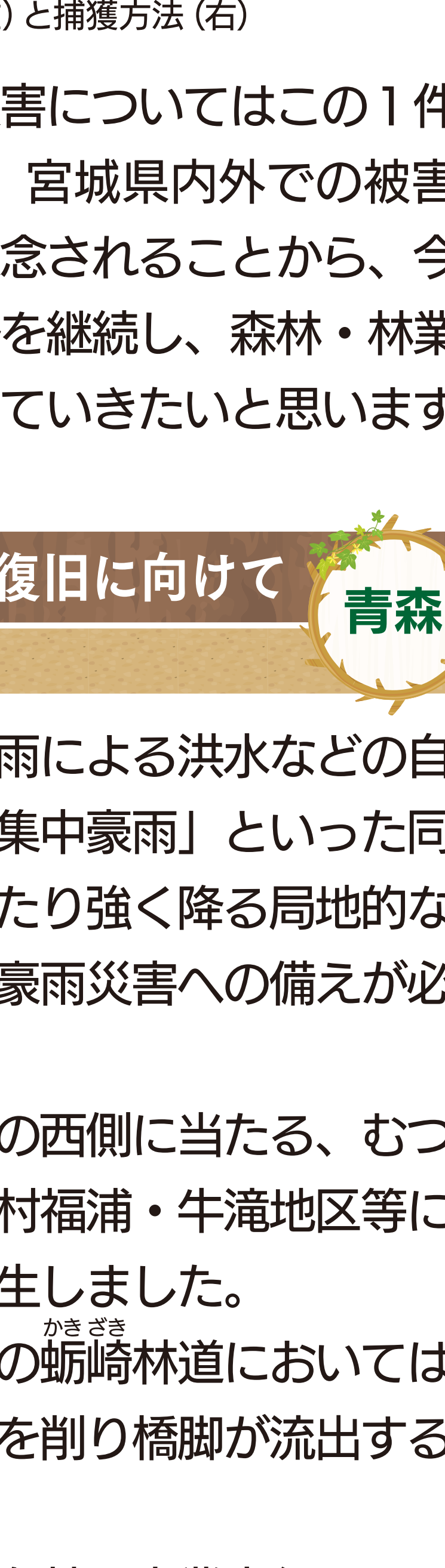
宮城県では、令和3年から、国際自然保護連合により「世界の侵略的外来種ワースト100」に指定され、海外では幅広い樹種の樹木に激甚な被害を及ぼしている外来生物、「ツヤハダゴマダラカミキリ」による食害が、主に公園や街路樹等で発見されるようになりました。

幼虫が樹木の内部を食い荒らすため、被害が進行すると樹木は枯死してしまうことから、特に都市近郊に森林を多く抱える当署では、被害が国有林に及んでいないかパトロールを強化してきました。

令和4年6月、管内をパトロール中の森林官が仙台市太白区内の国有林で被害にあったとみられる樹木を発見しました。その樹木を根元から防虫ネットで覆い、モニタリングを開始したところ、同年7月には「ツヤハダゴマダラカミキリ」の成虫が樹木から出てきたため、捕殺・薬剤注入を行い、被害にあった樹木については伐採し、破碎処理しました。



ツヤハダゴマダラカミキリ



捕獲した成虫（左）と捕獲方法（右）

現在、当署における被害についてはこの1件、1本だけですが、今後、宮城県内外での被害拡大、農林業への影響も懸念されることから、今後も情報収集とパトロールを継続し、森林・林業に影響が出ないように注視していきたいと思えます。

豪雨災害からの早期復旧に向けて

下北森林管理署

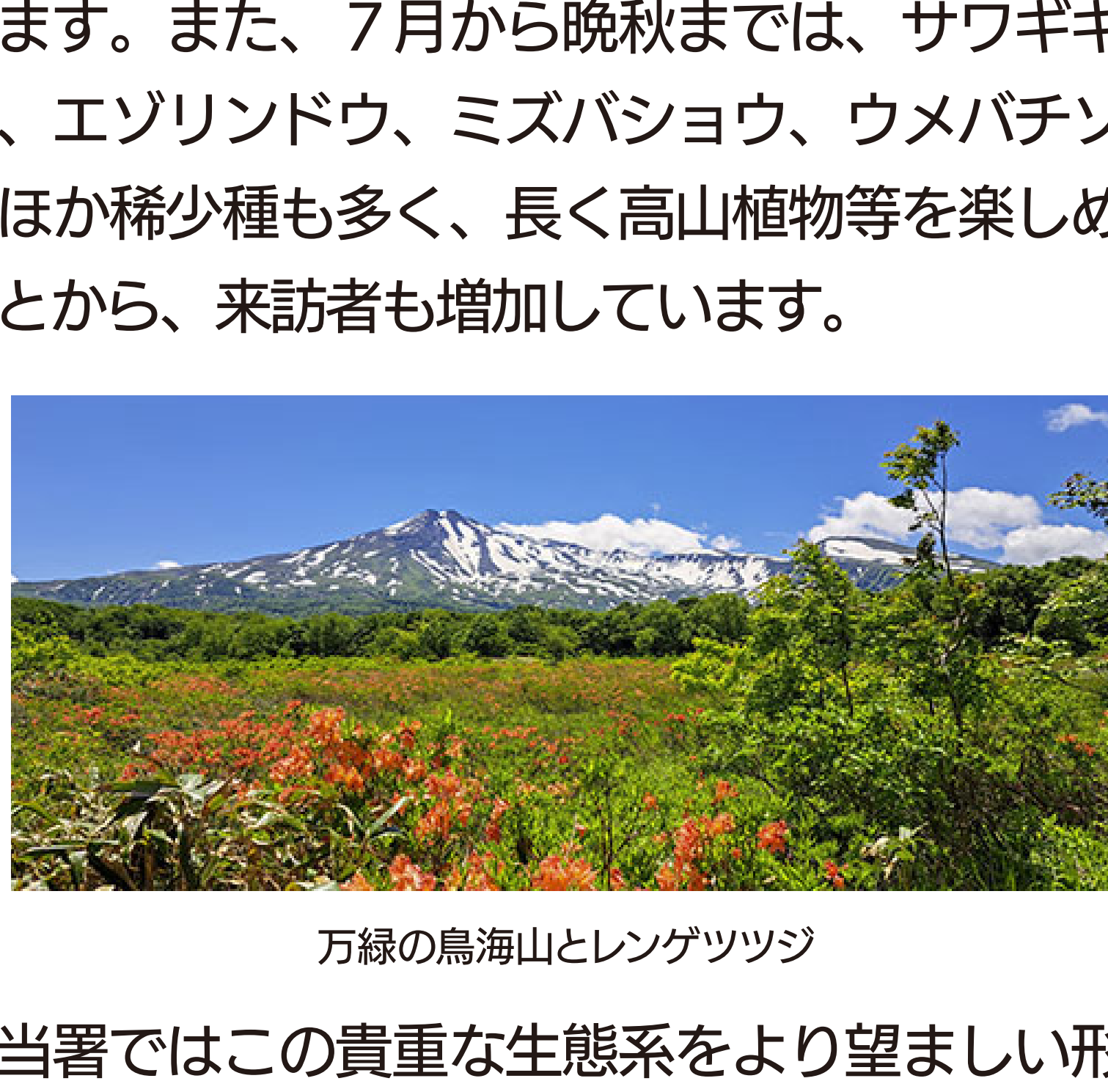
青森

近年、日本各地では大雨による洪水などの自然災害が起きています。「集中豪雨」といった同じような場所で数時間にわたり強く降る局地的な大雨も頻発し、激甚化する豪雨災害への備えが必要となっています。

昨年8月には下北半島の西側に当たる、むつ市川内・脇野沢地区、佐井村福浦・牛滝地区等において豪雨による被害が発生しました。

特にむつ市脇野沢地区の^{かきざき}蛸崎林道においては、増水した川の流れが川岸を削り橋脚が流出する災害が発生しました。

この林道は国有林・民有林の事業実行用として利用されているだけでなく、地域住民が農地へのアクセス道として利用してきたことから、むつ市を始め地域住民の方々から早期の復旧が望まれています。



被災時の蛸崎林道の様子

しかしながら、被災箇所は国有地と民有地が接する箇所でもあるため民地所有者の了解を得たうえで、上流側で護岸工事を行う青森県やむつ市と連携を図りながら11月末の完成を目指し災害復旧工事を進めていくこととしています。

当署では、今後も継続して県や市町村など関係機関と連携を図りながら、地域のため早期の災害復旧に向け取り組んでいきたいと考えています。

モニタリング調査結果を管理経営に

由利森林管理署

秋田

当署管内の「桑ノ木台湿原」は鳥海山の北麓に広がる鳥海国定公園内にあります。

高原に広がるこの湿原では、6月中旬にはワタスゲやオレンジ色の花をつけたレンゲツツジが群生し、草花が生えている下の地面はコケにおおわれます。また、7月から晩秋までは、サワギキョウ、エゾリンドウ、ミズバショウ、ウメバチソウのほか稀少種も多く、長く高山植物等を楽しめることから、来訪者も増加しています。

万緑の鳥海山とレンゲツツジ

当署ではこの貴重な生態系をより望ましい形で後世に引き継ぐことと、森林環境教育の場として、今後の湿原のあり方等について、地元行政機関や有識者等による検討委員会を立ち上げ、「桑ノ木台湿原保全管理計画書」を策定し、保全と利用の両立を図りながら管理していくことになりました。

その後は、定期的に「植生」「昆虫・鳥獣」「水位等調査」「移入植物」の各分野における専門家によりモニタリング調査を行い、異変については迅速的確に対応し、必要に応じて保全管理計画書の見直しを行い保全することとしています。

また、自然の価値や素晴らしさを学ぶ場として、自然探勝、観察等の利用が適切に行われるよう入山者等に指導啓蒙を行っています。

これからも、各分野の専門家等からの貴重なご意見をしっかりと受け止め、適切な管理経営を行っていきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手

岩手県紫波郡矢巾町

盛岡森林管理署

矢巾町は人口26,428人（令和5年6月1日現在）、面積は67.32km²と岩手県内で2番目に小さな町です。

矢巾町民に昔から愛されシンボルとされているのが南昌山なんしやうざんです。南昌山は標高848mの山で、青龍大権現まつが祀られており、昔から雨乞いの信仰があるといわれています。矢巾町内では、「南昌山に雲がかかると雨が降る」という言い伝えが古くから伝わっています。

南昌山の麓には矢巾町国民保養センターという入浴施設があり、南昌山登山でかいた汗を流すのに最適です。



南昌山山開き当日の展望台落成式の様子

矢巾町国民保養センターから東に下ると、煙山ひまわりパークがあり、毎年お盆の時期にひまわりが満開を迎え、約2.8haに約40万本のひまわりが南昌山を背に咲き誇る景色は圧巻で、町内外からたくさんの観光客が来場します。

また、煙山ひまわりパークの東側には矢巾町営キャンプ場があり、フリーサイトとなっているため、旅をしている方やソロキャンパー、小さい子どもがいるファミリーまでのんびり楽しく思い思いの過ごし方をしています。



煙山ひまわりパーク（南昌山・赤林山を背に）



矢巾町営キャンプ場

矢巾町に訪れたらぜひ購入してほしいのが特産品の山ぶどう商品です。野生種の山ぶどうを糖度が一番高くなる頃に収穫して丸ごと使用して作られており、香りと酸味が強くとてもおいしいです。

これからの季節は矢巾町の魅力がたっぷりです。皆様ぜひ矢巾町にお越し下さい。



矢巾町産山ぶどう商品（特産品のジャムとジュース）

お問合せ先
矢巾町産業観光課 Tel:019-611-2605

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形



かみのやまし
山形県上山市

山形森林管理署

上山市は、山形県都山形市の南隣に位置し、火口湖「お釜」や樹氷で有名な蔵王連峰や里山に囲まれた盆地です。農業が盛んで、果樹はサクランボに、ブドウ、ラフランス、干し柿と多種多様です。近年は、このブドウを使ったワイナリーの進出も目立っています。また、開湯560年を超える温泉地を備えた城下町でもあり、市内中心部を羽州街道が走る、温泉町、城下町、宿場町と3つの顔を持つ全国的にも珍しいまちです。



樹氷ウォーキングの景観は絶景

本市では、この豊かな自然を活用した“心と体がうるおうまち”づくり「上山型温泉クアオルト事業」を平成20年度から取り組んできました。健康・観光・環境を3本柱として事業を展開。国有林等を活用し、日本で唯一、先進地ドイツ・ミュンヘン大学アンゲラ・シュー教授が鑑定した認定コースが8



脈拍や心拍数などを計測しながらウォーキング

コースあり、それぞれ異なる魅力を楽しめます。このコースでは、年間360日、専門ガイドがついて、誰でも気軽に自然を楽しみながら取り組めるクアオルト健康ウォーキングが体験できます。

近年は、標高1,000mの蔵王高原坊平地域において、「健康経営×SDGs」をテーマに森林資源を活かした各種体験プログラムを用意。なかでも「癒しの森」で行われる森林浴は、動植物の痕跡や音、香りを辿り五感を開放しながら、癒し効果が高いといわれるフィトンチッドが豊富なトドマツ林を巡るので人気です。このほかトレーニング施設やクロスカントリーコース、温泉のあるリカバリー施設、ペンション村なども充実。健康経営や企業研修、福利厚生充実などをお考えの皆様にはオススメ！

心と体がうるおうまち“クアオルト かみのやま”に、ぜひお出でください。



蔵王坊平人気コース「癒しの森」



温泉街には5か所の足湯。浴衣で散策もオススメ

お問合せ先

上山市観光・ブランド推進課 Tel.023-672-1111

第73回全国植樹祭 岩手2023 ～緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から～

技術普及課

令和5年6月4日（日）、高田松原津波復興公園（岩手県陸前高田市）を会場に、第73回全国植樹祭岩手2023が開催されました。

全国植樹祭は昭和25年以来、毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的行事であり、岩手県内では、49年ぶり2回目の開催となります。

また、天皇皇后両陛下が御臨席の下で開催される3年ぶりの大会となりました。

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波を高田松原で唯一耐え抜き、復興に向かう人々の希望の象徴となった「奇跡の一本松」（現在はモニュメント）を望む式典会場の様子をお伝えします。

東日本大震災津波からの復興支援に対する感謝と全国からの参加者への歓迎の気持ちを表現したプロローグアトラクションは、宮澤賢治の童話「けんじゅうこうえん りん 度十公園林」の物語から始まりました。

少年の度十が痩せた野原にスギ苗を植樹し、成長したスギ林が子供達の憩いの場になっていく様子は、森林のもたらす恩恵や森づくりの尊さを伝え、豊かな森林を、次の世代に引き継いでいくことの大切さを再認識させるとともに、東日本大震災津波からの復興の歩みを連想させるものでした。

途中、国内外からの復興支援に対する「感謝のメッセージリレー」の映像に合わせ、TSUNAMI楽器の演奏がありました。この津波により生じた流木や倒壊家屋の材木や「奇跡の一本松」を使って製作された弦楽器の音色は、とても美しく、会場は厳かな雰囲気になりました。

式典は、天皇皇后両陛下御到着後、東日本大震災犠牲者への黙祷から始まりました。天皇陛下より、「震災を乗り越えて、この度、全国植樹祭が開催されることは誠に意義深く、復興に向けた地域の人々のこれまでのたゆみない努力と大会関係者の尽力に深く敬意を表します」とのお言葉が述べられたのち、緑化功労者等への表彰、緑の少年団から国務大臣への苗木の贈呈と続き、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き、代表者記念植樹が行われました。



緑の少年団による苗木贈呈
(第73回全国植樹祭県実行委提供)

天皇陛下は、お手植え所にて「森」の字をかたどり、県木として県民に広く親しまれる“南部アカマツ”、気仙地域海岸部にも群生する“カシワ”、東日本大震災後も生き残り、震災復興を象徴する“タブノキ”の3種をお手植えされたほか、皇后陛下は、氷上山がひかみさん発祥の地とも言われる“ベニヤマボウシ”、絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている“ハナヒョウタンボク”、宮澤賢治の童話「やまなし」でも親しまれる“ミチノクナシ”の3種を植栽されました。



上下：天皇皇后両陛下 お手植えの様子
(第73回全国植樹祭県実行委提供)

終盤の大会宣言では、いわて林業アカデミー修了生が、一.「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を推進し持続可能な森林管理を進めていくこと、二.森林の多様な機能とSDGsやカーボンニュートラルに果たす役割の共有や木と親しみ森林を育む取組を推進すること、三.森林・林業、木材産業に関する技術の研鑽に励み、みどり輝く未来を切り拓くことを宣言し、次期開催地の岡山県へ木製地球儀の引継ぎが行われました。

使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

国有林における山地災害への備え

近年、集中豪雨・地震等に起因する激甚な山地災害が全国各地で発生しています。令和3年、令和4年には東北森林管理局管内の市町村において、台風や低気圧に伴う大雨により甚大な被害が発生し、国有林においても多数の箇所での山地災害が発生しました。山地災害が発生した際に東北森林管理局では、以下の取組を行っています。



土砂の流出により流路が閉塞したため、緊急応急工事により土砂を撤去

1. ヘリコプターによる上空からの調査

大規模な山地災害の発生が想定される場合に、迅速に被害状況を把握するため、ヘリコプターを活用して上空から調査を実施しています。

2. 国有林防災ボランティアによる調査

森林土木工事に関する知識及び一定の経験がある団体と国有林防災ボランティア制度に関する協定を締結しており、国有林野で発生する山地災害、治山・林道施設の被害等の早期把握のため情報収集を行う体制を備えています。

3. 緊急応急工事に係る要請対象者の公募

災害発生時に被災地を一刻も早く復旧するため、緊急応急工事の協力者をあらかじめ登録しています。昨年度の緊急応急工事において、山地災害発生直後の非常に危険な状況の中、周辺環境と安全に配慮しながら優れた工事を実施した者に対し表彰を行いました。



受賞者の皆様

ご関心のある方は、治山課
(TEL:018-836-2019)へお問合せ下さい。

ツキノワグマによる被害を抑えるために

近年、ツキノワグマ（以下、クマ）の目撃情報が急増しており、中でも、市街地での目撃情報がたびたびテレビや新聞等で報道されています。

また、山間部に設置される案内看板や散策路内のベンチなどの木製構造物では、クマによって引っ掻く、かじるといった損傷が多く発生しています。これらの構造物は、ペンキや塗料などの防腐処理が施されているものがほとんどで、このような処理されたモノに対して、クマがどのような反応（行動）を示すのか分かれば、クマが好まない、あるいは嫌がる（忌避する）処理方法を見出すことに繋がります。

これまで、飼育個体や野生個体を対象に調査を行った結果、ペンキや塗料を好むこと、好むモノに対して体を擦り付ける、引っ掻く、かじるといった行動を取ることが確認できました。また、好むモノであっても、トウガラシに含まれる辛み成分（カプサイシン）を添加することで、かじる等の行動が減ることが分かりました。

この技術を活かしたクマ侵入防止柵を開発し、クマの目撃情報や農作物被害のある場所で現地試験を実施しています。効果の検証はさまざまな条件下で進めていく必要がありますので、今後も実現場へ投入しつつ、人の生活圏へのクマの侵入を抑える取組を進める予定です。



防腐処理した木材へのかじりつき（左）とクマ侵入防止柵の現地試験の様子（右）

ご関心のある方は、秋田県立大学木材高度加工研究所(TEL:0185-52-6900)へお問合せ下さい。

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として
働く人の紹介です。

チェーンソーマンになる

青森

青森県森林整備事業協同組合

青い森国土保全協同組合 加藤 大将さん

当組合は、青森県の西海岸地域を中心に林業の保全事業を行っております。私は入組して丸1年が過ぎ、現在の仕事は保全業務に欠かせないチェーンソーでの伐倒作業です。

林業系高校で3年、青い森林業アカデミーで1年学んできましたが、実際の林業の現場は学校で経験できるものとは全く違います。先輩方のプロとしての仕事や技術を見ていると、自分が未熟であることを思い知らされます。

チェーンソーの刃は使っているうちに切れ味が悪くなるので目立て（刃を研ぐこと）が必要ですが、この目立てが先輩方はとても上手くて（というか自分がまだまだ下手で）、先輩の研いだチェーンソーを使わせてもらおうと、刃がスルスッと入っていくので、手や腕への負担が少なく楽に作業ができます。上手な目立てを覚えられれば安全作業にもつながるので、早く上達して「切れる刃」を作れるようになりたいと思っています。



狙いを定めてチェーンソーを入れる

木を伐倒する仕事は危険を伴いますが、「高さ約20mで数百キロもの木を伐り倒す」作業を日常的に行う仕事は、他の仕事ではそうそう味わえない迫力があります。安全な作業のためには覚えることもたくさんありますが、とてもやりがいのある仕事です。

二戸市浄法寺町の伝統と共に

岩手

岩手北部森林管理署 浄法寺森林事務所

森林官 木村 良兼さん

当事務所は岩手県北部に位置する二戸市浄法寺町にあり、約4,320haの国有林を管理しています。

浄法寺地区は伝統産業である漆工芸が盛んな町です。現在、国内で流通している漆の97%以上が輸入によるもので、国産はわずか3%ですが、その国産漆の約80%が、二戸地域を中心に生産されている浄法寺漆です。その品質は漆器のみならず、世界遺産である平泉の中尊寺や京都の金閣寺、日光東照宮など日本を代表する国宝建造物の修復に使用されるなど高く評価されています。

漆産業の振興に向けた取組として、令和2年に二戸市と当署の間で、浄法寺漆の振興に向けて連携して取り組むことを目的とした協定を締結し、国有林の分収造林制度を活用しての漆生産量の拡大、漆関連産業後継者の育成、官民が協力して漆の植樹祭を行っております。現在、浄法寺地区の国有林には約67haの漆林があります。6月からの採取開始に向け、前年秋に収穫調査を行いました。漆職人が1本1本採取する木を入念に見定め、入念に選木しています。

森林官の業務は、担当する国有林へ毎日出かけ、植付から伐採までの調査・現場監督、地域の窓口業務、学校への森林環境教育と多岐にわたり、森林を健全に維持していく重要性が実感できるやりがいを感じる仕事です。このような魅力ある公務員の仕事を一緒にしてみませんか。



蜂の誘引捕殺器の設置

東北森林管理局の管内で

予定されている

イベント情報

7月中旬

くずまき高原牧場ラベンダーまつり

6月24日(土)～7月23日(日)
イングリッシュラベンダーの花穂
摘み取り体験等が楽しめる
(岩手県/くずまき交流館プラトール)

森の感謝祭(おいらせ町)

7月8日(土)～7月9日(日)
豊かな自然・食・音楽・芸術をテーマとした総合イベント
(青森県/森の感謝祭実行委員会)

夏の洋らんフェア

7月14日(金)～7月18日(火)
カトリアを中心とした洋ランの展示即売会
(宮城県/道の駅「村田」物産交流センター)

白神山地 自然再生活動

7月15日(土)
白神山地を広葉樹林とするために
ブナ等の苗木を植栽する活動
(青森県/津軽白神森林生態系保全センター)

出羽三山神社例大祭 花まつり

7月15日(土)
稲の開花期にあたり、災厄のないことを祈願する祭
(山形県/出羽三山神社)

鮭川村エコパークありがとサマー祭

7月16日(日)
自然との共生をテーマにアトラクションや飲食店など楽しめる
(山形県/さげがわ元気プロジェクト実行委員会)

あじさい園と猯鼻溪舟下り日帰りツアー

7月17日(月)
みちのくあじさい園と猯鼻溪を観光、「あじさい図鑑」の土産付
(岩手県/(一社)一関市観光協会)

カブトムシつかまえ隊

7月17日(月)
野鳥の森を探検した後、昆虫の森でカブトムシを採取
(宮城県/蔵王野鳥の森自然観察センター)

7月下旬

にしめやランド2023

7月22日(土)～7月23日(日)
西目屋村のあらゆる場所でステージショー等様々な催しものを開催
(青森県/目屋観光協会)

第30回白神山地ビジターセンターふれあいデー

7月22日(土)～7月23日(日)
クイズラリー、親子木工教室、自然体験等のイベントが多数
(青森県/白神山地ビジターセンター)

大湯温泉夏まつり

7月22日(土)～7月23日(日)
大湯大太鼓と踊り、芸能や露店、2日目は花火も楽しめる
(秋田県/鹿角市)

めざせ！蔵王マイスター②

7月22日(土)
18歳以上の登山初心者を対象とした講習会と登山
(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

ブナの森リトリートツアー

7月22日(土)
森林セラピー基地・ブナの森温身平を散策
(山形県/やまがたアルカディア観光局)

国立公園で楽しむ親子の自然体験

7月29日(土)
よるの森、コウモリの調査体験と昆虫ライトトラップ
(岩手県/網張ビジターセンター)

山の日記念親子森林教室

7月29日(土)
仁別国民の森等で行う親子森林教室(参加者募集中(詳細はHPにて))
(秋田県/東北森林管理局)

サンドクラフト2023inみたね

7月29日(土)～8月31日(木)
Sand Museumをテーマにして釜谷浜海水浴場に砂像を展示
(秋田県/サンドクラフト実行委員会)

8月上旬

水陸両用バスin長井ダム百秋湖

6月9日(金)～8月6日(日)
長井ダム・ながい百秋湖を水陸両用バスで遊覧！
(山形県/やまがたアルカディア観光局)

国立公園で楽しむ親子の自然体験

8月5日(土)
「夏休み！親子で楽しむ だて先生の昆虫観察&クラフト体験」
(岩手県/網張ビジターセンター)

第44回歩行者天国ふるさと祭り

8月5日(土)
藤里町役場前を歩行者天国にして、各種イベント、抽選会を開催
(秋田県/藤里町商工会)

小坂七夕祭

8月5日(土)～8月6日(日)
アイディアに富んだ山車が、お囃子にのって町内を練り歩く
(秋田県/小坂町)

酒田の花火 全国二尺玉花火競技大会

8月5日(土)
全国指折りの煙火店が競う、大迫力の二尺玉花火の競技大会
(山形県/酒田市)

北限の海女フェスティバル

8月6日(日)
北限の海女による素潜りや海の幸を楽しめるイベント
(岩手県/久慈市)

第69回青森花火大会

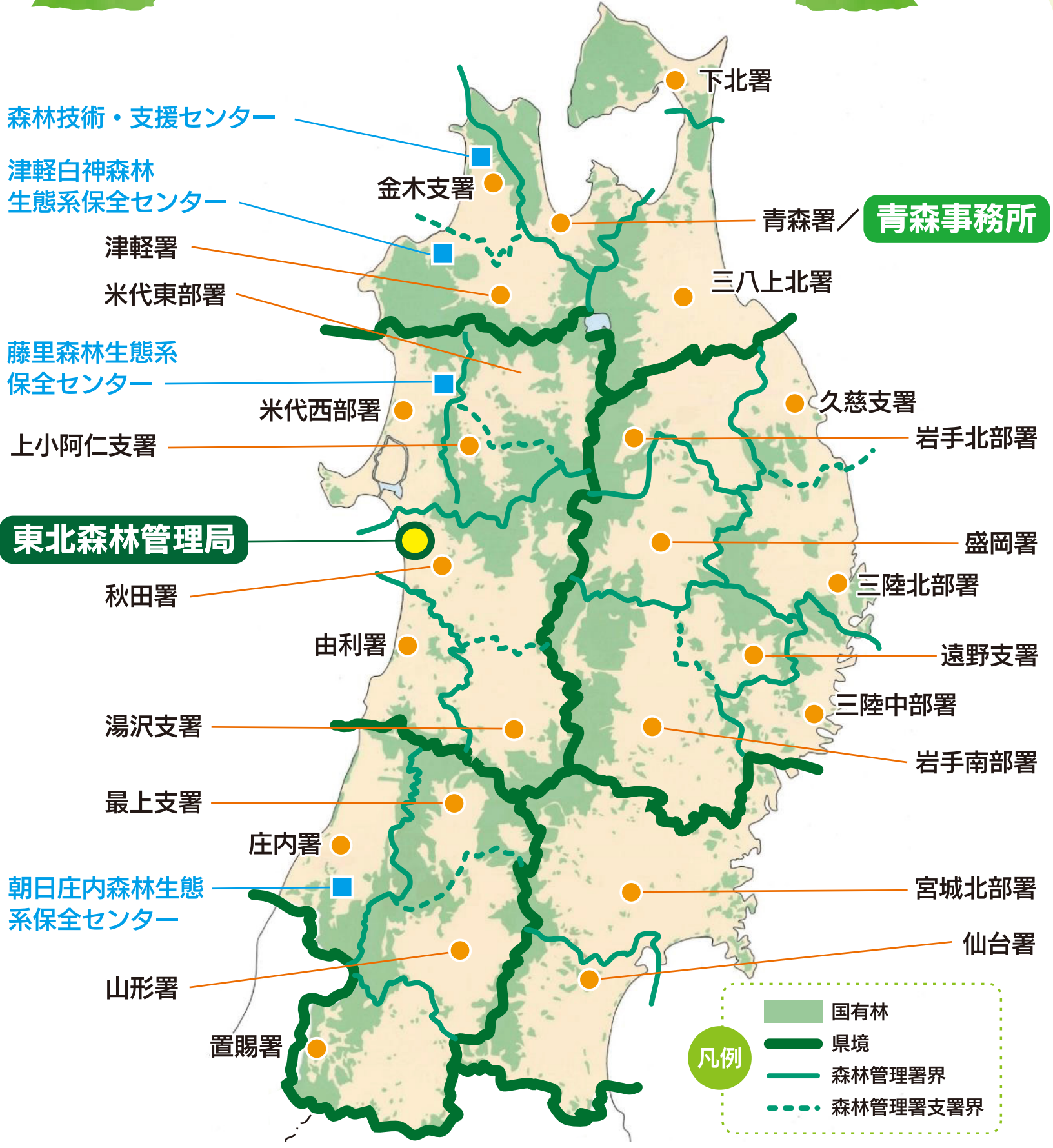
8月7日(月)
海の上を行き交うねぶたと共に大輪の花火が夏の夜空に咲き誇る！
(青森県/青森市花火大会実行委員会)

東北農政局こども見学デー

8月8日(火)
見て、触って、木を知ろう！をテーマに森の恵みふれあいコーナー
(宮城県/東北農政局)

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター 森林技術・支援センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿陪野70-82 北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-72-2931 ☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
宮城県	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670
	宮城北部署 仙台署	大崎市古川東町5-32 仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎0229-22-2074 ☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
山形県	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.232

●発行日/令和5年7月

●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

